

魚類の生物多様性をミトコンドリアDNAを手がかりに探る

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 水産総合研究センター 公開日: 2024-11-28 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 斉藤, 憲治 メールアドレス: 所属:
URL	https://fra.repo.nii.ac.jp/records/2012407

This work is licensed under a Creative Commons Attribution 4.0 International License.



魚類の生物多様性をミトコンドリアDNAを手がかりに探る

海区水産業研究部

研究の背景・目的

1. 魚類ミトコンドリアDNA全塩基配列の迅速解読法が確立
2. この技術を応用し、真骨魚類の主グループ間の系統類縁関係と異体類の類縁関係を推定

研究成果

1. オステオグロッサム類・ウナギ類・ニシン類の下等真骨魚類と骨鰾類より高等なグループは別々の進化の枝にあるとされていたが、ニシン類が骨鰾類に近いこと、また骨鰾類のうちネズミギス類がニシン類に近いことが判明（図1）
2. ヒラメ・カレイ型→右向きのウシノシタ型（ササウシノシタ類）→左向きのウシノシタ型（ウシノシタ類）の進化傾向が判明（図2）

波及効果

1. 従来の真骨魚の大分類が変更される可能性

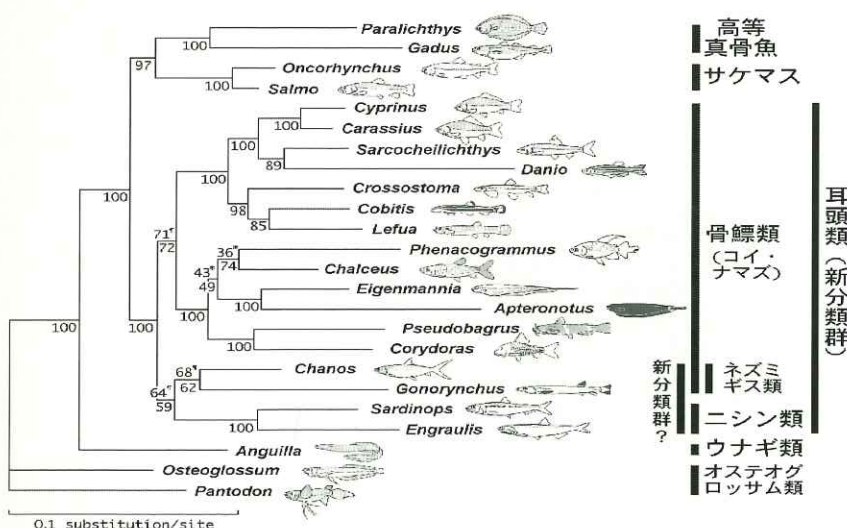


図1. ミトコンドリアDNA全塩基配列から推定される真骨魚類の類縁関係

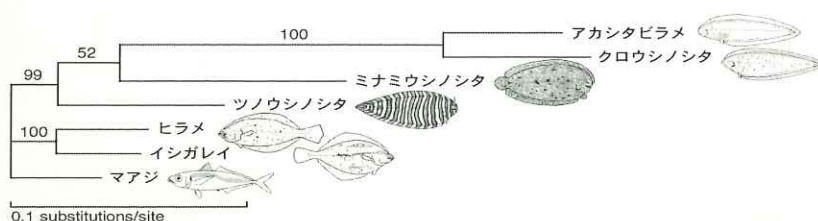


図2. ミトコンドリアDNA全塩基配列から推定される異体類の類縁関係